

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

生活環境部

【平成28年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	重点目標 資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成 資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1)対策連絡会を構成する団体ごとの説明会や意見交換会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策案の提案 し尿前処理下水道投入施設建設に向けた地元自治会との合意形成 (1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施	(1)地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2)地元自治会等に対し地域振興策を提案し地元の意向・要望を把握する (1)(2) 施設整備に向けた地元自治会との合意形成に向けた取組の推進	(1)資源循環型施設建設対策連絡会との懇談会を実施（6月23日） (2)地元自治会等に提案する地域振興策の検討 (1)(2) 地元自治会において住民を対象とした説明会開催に向けた調整（10月開催予定）
2	重点目標 資源循環型社会の形成に向けたごみの減量化・再資源化の推進 具体的な重点取組項目（簡条書き） ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量化推進施策の実施・検討 生ごみの減量化・堆肥化 (1)「やさいまる」事業の継続、「生ごみ出しません袋」の配布 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施と検証 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「キャッチャーズ」の活用による情報提供・啓発事業（ごみ集積所プレート等の設置）	(1)通年、ポイント交換：200回、 「生ごみ出しません袋」登録：100世帯 (2)通年、補助機器数：720台、配布基材数：1,600個 (3)モデル事業を検証し、普及拡大を検討 対前年度比 528 t（1.5%）	(1)「やさいまる」事業 乾燥生ごみ回収量：647.0kg、持込者数：延べ281人、ポイント交換数：62回 「生ごみ出しません袋」の配布 登録：420世帯（H28.9月末現在） (2)ごみ減量化機器購入費補助機器数：210台、ごみ減量化基材「ばっくん」配布数：500個 (3)真田地区でモデル事業を実施中、半過地区で新たにモデル地区1箇所を決定 可燃ごみ処理量 前年度比+264t（+1.5%）（9月末現在） 広報うえだ（計7回）及び環境うえだ（7/1号）の特集記事の連載により、ごみ減量化・再資源化の啓発
3	重点目標 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 具体的な重点取組項目（簡条書き） 特殊詐欺等被害防止連絡協議会の開催し、情報の共有化により被害の未然防止を図る 特殊詐欺等被害防止大会の開催 防犯意識の高揚と被害防止の推進 自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施 子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進 シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	特殊詐欺等連絡協議会2回 特殊詐欺被害防止大会1回 地域安全運動 年4回実施 駅前パト26回、青パト210回、千本桜まつり5回、夏祭りパト2回 交通安全教室50回以上実施 高齢者及びウォーキング団体等へ夜光反射材の配布 シートベルト99%、チャイルドシート80%以上	特殊詐欺等連絡協議会(10月3日開催、平成29年2月開催予定) 地域安全運動 2回実施（4月1日～30日、7月1日～31日） 駅前パト22回延べ550人（9月末現在）、青色回転灯防犯パト103回（9月末現在）、千本桜まつり夜間パト15回（延べ202人）及び夏祭り駅前パト2回（延べ258人） 交通安全教室を61回実施(9月末現在)、出前講座等で夜行反射材を配布 シートベルトの着用率97.5% チャイルドシートの着用率92.3%(5月調査)
4	重点目標 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全 具体的な重点取組項目（簡条書き） 公共施設のCO2排出量削減に向けた取り組みの推進 (1)地方公共団体カーボンマネジメント強化事業を活用した低炭素化の手法の検討 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進 省エネルギーの推進 (1)第三次エコウィスうえだに基づいた温暖化防止対策の推進 (2)緑のカーテン普及 (3)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全施策の推進 (1)全市一斉アザリ駆除 (2)レジ袋削減・マイバック持参運動 (3)不法投棄防止パトロールの実施 (4)河川一斉パトロールの実施	(1)地方公共団体カーボンマネジメント強化事業に応募し、実現可能性調査を実施 (1)太陽光300件、太陽熱10件 (2)三中及び本原小管理棟の屋根貸しを検討 (1)夏・冬の節電対策実施 (2)緑のカーテン150件以上 (3)会議等の支援 (1)6月 (2)持参率60%以上維持 (3)1,150回以上 (4)2回	(1)6月9日付で応募申請書を提出、7月21日採択、9月15日コンサルタント委託業者と契約締結 (1)太陽光165件、太陽熱6件（9月末） (2)三中(北校舎、屋内運動場)、本原小管理棟の屋根貸しは、29年度に実施可能であることを確認 (1)7月から9月まで、クールビズなどの夏の節電対策を実施 (2)緑のカーテン 66件 (3)うえだ環境市民会議(総会他7回)、自然エネルギー-上小町の普及啓発活動(総会他2回)へ参加 (1)6月にアザリ駆除を実施 (2)市内スーパー店頭での啓発活動(ティッシュ配付)2回実施 (3)不法投棄パト1659回 (4)5月に河川一斉パトロール実施
5	重点目標 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 具体的な重点取組項目（簡条書き） 住環境整備の推進及び市営住宅等長寿命化計画（仮称）の検討 (1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)住宅整備の方針（素案）を検討 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上 (2)滞納繰越分収納率 過去3年間の実績の平均以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	(1)中丸子団地2棟36戸(継続)【再掲:丸子地域自治C】 (2)住宅整備方針の素案を作成 (1)95%以上 (2)12.4%以上 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、法的措置を視野に入れた取組	(1)中丸子団地2棟36戸分について8月末の契約により事業実施中 (2)7月に素案を作成 (1)40.7%(昨年同期比0.2%増) 9月末現在 (2)9.1%(昨年同期比0.7%増) 9月末現在 訴訟対象者6名のうち、全納を含めすべて誠意ある対応が得られた。催告書の積極的送付を実施

評価基準 [] : 目標を上回る進捗 [] : 目標どおり進捗 [] : 未進捗の部分あり [x] : 全て目標未進捗

市長指示事項
 ・他市のごみ減量化についても研究すること。・市職員や広域連合職員のごみ減量の取り組みについても公表すること。・お湯等を活用したバイナリ発電について研究すること。・し尿前処理施設下水道投入施設の建設に向けては、各課題に対して粘り強く取り組むこと。・消費者被害については、協議会を中心に連携して減少するよう取り組むこと。